



(左)ブラックステンレスが、全体のインテリアとうまく調和している。(上)シンクには猫対策のカバーを設置。(下)前面パネルは90度まで好きな角度に動かすことができ、収納から取り出した食器を出し入れする際の一時置きにもなる。

オンリーワンのフルオーダーキッチン マイスデル

高い機能性と、空間に調和するスタイリッシュなデザイン性を両立する
家庭用フルオーダーキッチンブランド、MEISDEL(マイスデル)。
ライフスタイルに寄り添い、細かな要望もかなえるマイスデルだからこそ
実現できる圧倒的なクオリティを、ぜひ体験したい。

Photo Satoru Seki Text Mizuki Ono



幅300cm、奥行き100cm、高さ90cmの広々としたキッチン。ガスとIH両方が使えるコンロには、油よけのガラススクリーンを設置。

室内を悠然と歩き回り、時にごろりと体を横たえてあくびをする大きな猫。その背を優しくなでながら、奥様が「あと7匹いるんです」とほほ笑む。2017年に中古住宅をリノベーションして完成した我が家で愛猫たちと暮らすM夫妻がMEISDEL(マイスデル)に出合ったのは、キッチン専門誌を見ていた時。奥様は、ブラックステンレスの格好良さに心を打たれたという。

「それで、新居を構えるなら、キッチンはマイスデルのブラックステンレスで、と以前から決めていたんです。キッチンは料理という作業をする場ですから、インテリア性だけでなく、機能性もとても重要。その意味でも、自分の体の大きさや好み、ライフスタイルに合わせて自由にオーダーができるマイスデルは、ぴったりでした」

一般的なキッチンの間口は、長くてもおよそ2.7m。しかしM邸のキッチンは間口を3mとし、その3分の1をシンクが占めている。シンクには水洗が2本あり、奥行きは1mととにかく広々。シンクの中に水切りを設置しても十分なスペースが確保でき、ワークトップの広さは3人で立っても余裕を持って作業ができるほどだ。

前述の通り、8匹の猫と共に暮らしているM夫妻。猫がいるからこそ家のつくりの工夫もあったが、それはキッチンにも表れている。「食べ物のごみが残っていたりすると、猫たちはどうしても排水口を荒らしてしまう」という悩みがありました

そこで、シンクにカバーを設置できるようにして、猫がいたずらできないように。それでも上に乗ったりはするので、爪の痕がついてしまうこともあるのですが、そこはステンレスのお手入れのしやすさに助けられています。また、細かなパーツを取り外してお掃除できるので、衛生面でも安心です」

現在はクオーツストーンを使用したキッチンなども多くあるが、奥様は断然ステンレス派。元々食器を集めるのが好きな奥様にとっては、食器をぶつけても壊れにくいステンレスのキッチンがベストだったという。

「集めた食器は、大容量の収納にまっています。前面収納には普段使いの和食器を入れているのですが、量が多くてモスツクリ収まるんですよ。逆に、グラスなどは見せる収納で壁面にずらり。キッチンのステンレスのブラックが、この壁面キャビネットのフレームの黒と、隣接するワインセラーの扉の黒にピッタリハマって、インテリアとしてもすっきりまとまりました」

普段、毎日使うものだからこそ、完成して7年経ってもキッチンに対する愛着がどんどん深くなっていく実感がある、と奥様は語る。オーダーキッチンといいつつ、いくつもある選択肢の中から選ぶだけのセミオーダーになってしまっているブランドは、残念ながら多い。しかし、マイスデルは完全なフルオーダーだからこそ、細かな要望にも応え、オンリーワンのキッチンを造ることができるのだ。